

問題・解答
用紙番号

29

の解答用紙に解答しなさい。

日 本 史

〈受験学部・学科〉

3科目型 受験者 **3科目型と2科目型の併願受験者**

法学部, 国際学部, 経済学部, 経営学部, 現代社会学部,
農学部【文系型】(食品栄養学科・食農ビジネス学科)

問題は100点満点で作成しています。

I 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(25点)

冬十月辛巳、^{みことりの}詔して曰く、「(中略) 粵に天平十五年歲次癸未十月十五日を以て、菩薩の大願を發して、^る盧舎那仏の^な金銅像一軀を造り奉る。国銅を尽して象を鎔し、大山を削りて以て堂を構へ、^{ほうかい}① 広く法界に及ぼして朕が知識と為し、遂に同じく利益を蒙らしめ、共に菩提を致さしめむ。夫れ天下の富を有つ者は朕なり。天下の勢を有つ者も朕なり。この富勢を以て、この尊像を造る。事や成り易き、心や至り難き。(中略) もし更に、人情に一枝の草、一把の土を持ちて像を助け造らむと願ふ者有らば、^{ほしまま}恣に聴せ。(中略)」と。

(『続日本紀』)

この史料は、^②743(天平15)年に **ア** が国家の安定と仏教による救済を願い、^③東大寺の大仏(盧舎那仏)建立を命じた重要な詔である。この事業には多くの人々が関わったが、その中でも **イ** の貢献は特筆される。**イ** は民衆の間で仏教を広め、多くの橋や寺院の建設を支援した僧侶である。当時、僧侶が自由に布教活動を行うことは制限されていたが、彼は民衆とともに社会事業を推進し、多くの支持を集めた。**ア** は **イ** の影響力を認め、大仏造立の協力を要請した。**イ** は全国を巡り、人々に寄付や労働力の提供を呼びかけ、大仏建立の資金と労働力を確保する役割を果たした。

また、**ウ** は **ア** の皇后となり、仏教を深く信仰していた。**ウ** は社会福祉にも力を入れ、病人を救済する施設 **エ** を皇后宮職に設立した。大仏造立の際には多くの貴族とともに支援を行い、自ら建立資金の調達に携わったという。752(^④天平勝宝4)年の開

眼供養では **オ** が導師を務めた。開眼供養には **ア** と **ウ** の娘で、当時の天皇である 孝謙天皇 ^⑤をはじめ、多数の貴族、僧侶や民衆が参加し、日本仏教史における重要な節目となった。

問1 空欄 **ア** ～ **オ** に入るもっとも適切な語句を、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- | | | | | |
|---|------------|----------|----------|----------|
| ア | (a) 桓武天皇 | (b) 天武天皇 | (c) 聖武天皇 | (d) 神武天皇 |
| イ | (a) 良弁 | (b) 重源 | (c) 忍性 | (d) 行基 |
| ウ | (a) 藤原光明子 | (b) 藤原彰子 | (c) 藤原薬子 | (d) 橘嘉智子 |
| エ | (a) 小石川養生所 | (b) 施薬院 | (c) 養育院 | (d) 正倉院 |
| オ | (a) 空海 | (b) 菩提僊那 | (c) 鑑真 | (d) 最澄 |

問2 下線部①「盧舎那仏の金銅像一軀」と同じ天平期における仏像の特徴として、もっとも適切なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 口角をやや上げたアルカイックスマイルをたたえる金銅仏などが多く作られた。
- (b) 杏仁形の眼や仰月形の鋭い唇など、力強く端巖で男性的な表情の仏像が多く作られた。
- (c) 仏像の身体をいくつかの部分に分けて別々に作り、それらを組み合わせる技法が仏師定朝によって完成された。
- (d) 従来の金銅像や木像のほかに塑像や乾漆像の技法が発達し、表情豊かで調和のとれた仏像が多く作られた。

問3 下線部②「743（天平15）年」前後に起きた出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅳについて、古いものから年代順に配列したものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- Ⅰ 天然痘が流行し、藤原房前ら兄弟が死去した。
- Ⅱ 遣唐使とともに玄昉や吉備真備が帰国した。
- Ⅲ 国分寺・国分尼寺建立の詔が出された。
- Ⅳ 墾田永年私財法が施行された。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (a) Ⅰ - Ⅱ - Ⅲ - Ⅳ | (b) Ⅲ - Ⅰ - Ⅳ - Ⅱ |
| (c) Ⅳ - Ⅰ - Ⅱ - Ⅲ | (d) Ⅱ - Ⅰ - Ⅲ - Ⅳ |

問4 下線部③「東大寺」に関する記述として、もっとも適当なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 1180（治承4）年に松永久秀と三好三人衆との戦乱で伽藍が焼失したが、鎌倉時代に再建された。
- (b) 鎌倉時代には法然・親鸞・栄西・道元・日蓮などの宗派の祖師が修行し、日本仏教の発展に大きな影響を与えた。
- (c) 太い柱や貫を多用し、耐久性を重視した和様が主流で日本の仏教建築の発展を象徴する。
- (d) 何度か焼失し、現在の大仏殿は江戸時代に再建されたものである。

問5 下線部④「天平勝宝」年間（749～757年）に成立した漢詩集はどれか。下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 和漢朗詠集
- (b) 菅家文章
- (c) 懐風藻
- (d) 凌雲集

問6 下線部⑤「孝謙天皇」に関する記述として、もっとも適当なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 藤原仲麻呂を重用し、仲麻呂と対立した橘奈良麻呂が滅ぼされた。
- (b) 難波宮を造営し、遷都した。
- (c) 陸奥国で反乱を起こした伊治咩麻呂の鎮圧を命じた。
- (d) 玄昉を重用した結果、彼を排除しようとする藤原広嗣の乱を招いた。

Ⅱ 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(25点)

中世は民衆の間に商品経済が浸透していった時代であった。それを支えたのが農業、商業、都市の発展である。

農業はすでに鎌倉時代に大きく発達していた。畿内を中心に西日本では二毛作が進み、麦や蕎麦、荳胡麻などが栽培されるようになった。また、米の品種改良や^①肥料の使用、農具の進歩、灌漑用水の整備などによって、農業生産は増加し、百姓は経済的に余力を持つことができた。

こうした動向は小農民の自立をうながし、荘園領主や地頭もこれを容認して農作物の徴収を確実なものにしようとした。その一方で百姓たちは名主を中心に団結して領主に抵抗するようになった。アでは地頭湯浅氏の非道を荘園領主に訴え、山に逃散したところ、湯浅氏は抵抗する百姓の耳を切り鼻を削ぐと脅迫したという。畿内やその周辺部では集落が作られはじめ、自然発生的な村が形成されるようになった。こうした百姓らが自発的に作り出し、自治を行う村を「惣」あるいは「惣村」と呼ぶ。^②

こうした動向を背景に手工業や商業も発展した。農業生産力の増大は商品作物へ力を注ぐ余力を生み、手工業品の大量生産を可能とした。地方では各地の特色をいかした様々な特産品が生産されるようになった。代表的なものとして、美濃の美濃紙や備前長船のイなどがある。

また、室町期になると都市を中心にウの油座や北野社の酒麴座などの座が発達し、地方でも月に6回開かれる六斎市などで活発な商取引が行われた。このように地方の産業が盛んになると遠隔地取引も活発になり、貨幣や為替の使用が増えていった。加えて、水・陸の流通路が発達し、陸路の運送を担った^③馬借・車借や、要衝の地で中継を担った問屋などが活躍した。

戦国時代には各地で様々な都市が発展した。戦国大名が家臣や商工業者を集住させて建設した城下町は地域における政治、経済、文化の中心となった。例えば、エの本拠地で「西の京」と称された山口には応仁の乱後、京から多くの公卿が下向した。また、延暦寺の坂本、伊勢神宮の宇治・山田、^④信濃国善光寺など寺社の門前町も栄え、とくに浄土真宗の勢力の強い地域では、寺院や道場を中心に寺内町が形成された。寺内町は中興の祖オが布教を行った地に多く、富田林や枚方、久宝寺などには現在もその痕跡が残っている。さらに水・陸の流通や交通において重要な場所には港町が繁栄し、これらの中には和泉国堺のように^⑤自治組織が運営する都市も登場した。

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句を、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- ア (a) 山城国上桂荘 (b) 若狭国太良荘 (c) 播磨国矢野荘 (d) 紀伊国阿氏河荘
イ (a) 絹織物 (b) 刀剣 (c) 陶磁器 (d) 鋳物
ウ (a) 大山崎離宮八幡宮 (b) 粟津供御人
(c) 興福寺一乗院 (d) 祇園社
エ (a) 山名氏 (b) 大内氏 (c) 大友氏 (d) 細川氏
オ (a) 一遍 (b) 蓮如 (c) 親鸞 (d) 法然

問2 下線部①「肥料の使用」について、中世に広く使用されていた肥料として誤っているものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 刈敷 (b) 油粕 (c) 草木灰 (d) 下肥（人糞尿）

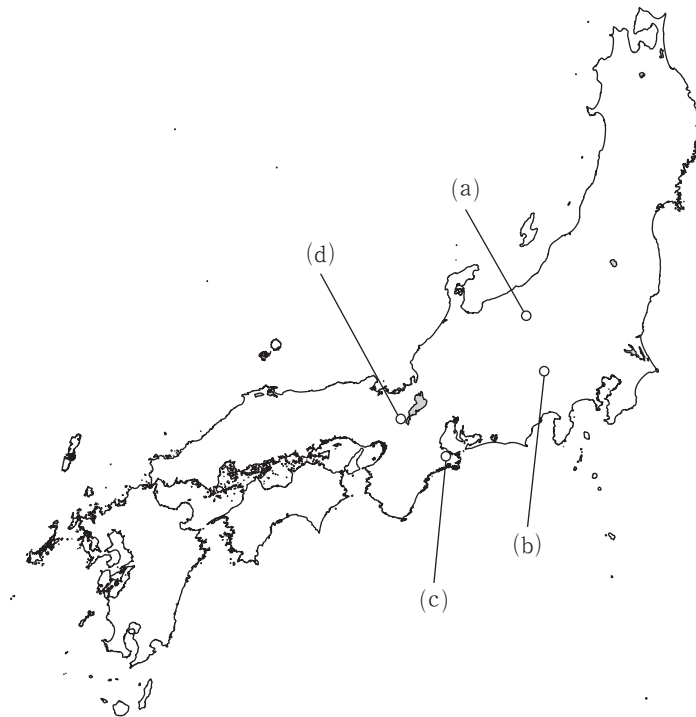
問3 下線部②「惣村」に関する記述として、もっとも適切なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 惣村では名主・組頭などと呼ばれる代表者を中心に寄合を開き、村の防衛、入会地や用水の管理などを行った。
(b) 年貢を領主から一括して請け負う地下請から個別の百姓が請け負う方法が多くなっていった。
(c) 構成員が守らなくてはならない惣掟を定め、彼ら自身が警察権（地下検断）を行使する村もあった。
(d) 惣村の構成員は宮座と呼ばれる神社の氏子組織に属し、盟神探湯や太占の法などの儀式をとり行い結束を固めた。

問4 下線部③「馬借」の蜂起をきっかけに、1428年に起きた一揆に関する史料として正しいものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 今日山城国人集会す（上ハ六十歳，下ハ十五六歳と云々）。同じく一國中の土民等群集す。
(b) 一天下の土民蜂起す。徳政と号し，酒屋・土倉・寺院等を破却せしめ，雑物等恣にこれを取り，借錢等悉くこれを破る。
(c) 近日，向辺の土民蜂起す。土一揆と号し，御徳政と称して，借物を破り，少分を以て押して質物を請く。絳江州より起る。
(d) 加賀国の一向宗土民（無導（碍）光宗と号す）侍分と確執す。侍分悉く以て土民方より國中を払はる。

問5 下線部④「信濃国善光寺」はどこか。地図中の(a)~(d)から一つ選べ。



問6 下線部⑤「自治組織が運営する都市」の中には南蛮貿易で栄えるところもあったが、日本とヨーロッパに関する記述として、もっとも適当なものを、下の(a)~(d)から一つ選べ。

- (a) ポルトガル人やスペイン人は、おもに鉄砲・火薬や中国の生糸を日本にもたらし、日本からは16世紀ごろから生産が増加した銀や工芸品などを持ち帰った。
- (b) 1549年、カトリックの改革団体イエズス会の宣教師フランシスコ=ザビエルが長崎に上陸した。
- (c) 九州の戦国大名大村純忠・有馬晴信・黒田孝高（如水）は、伊東マンショら少年使節をローマ教皇のもとに派遣した。
- (d) 豊臣秀吉は京や安土に南蛮寺やコレジオ・セミナリオといった宗教施設をつくることを許した。

Ⅲ 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(25点)

徳川家康が江戸に幕府を開いてから数十年すると幕政が安定し、生産や経済が著しく発展した。すると、これまで文化を生み出してきた公家や武家、僧や神主、富裕な商人たちだけでなく、広く一般の人々も作品を生み出し、享受する、文化の担い手となっていった。特に将軍綱吉の時期にあたる^①元禄時代に花開いたものを「元禄文化」という。これを担った様々な文人の中でも、特に著名なのが、井原西鶴、松尾芭蕉、近松門左衛門である。

井原西鶴は西山宗因を師に仰いで談林俳諧で名を馳せたが、浮世草子と呼ばれる風俗小説の作家に転じた。1682(天和2)年刊行の『好色一代男』は西鶴の最初の作品である。もう一つの代表作として、1688(元禄元)年に刊行された『ア』を挙げることができる。『ア』は6巻からなり、金銭や出世を追求する町人の喜怒哀楽がリアルに描写されていることで有名である。

松尾芭蕉は、伊賀国上野の出身で、蕉風(正風)俳諧を確立した。『野ざらし紀行』は松尾芭蕉の最初の俳諧紀行文とされる。1702(元禄15)年に刊行された『奥の細道』は、1689(元禄2)年、江戸を出発して、東北・北陸地方を経由し美濃大垣に至るまでの紀行文である。ほかに『笈の小文』といった著作を残した。

近松門左衛門は福井藩士(後に吉江藩に仕える)の子息として生まれたが、父が浪人となり京に移り住んだ。青年期に公家に仕えたとされ、ここで得た知識や教養が作品に活かされたという。近松は^②慶長期以降に流行していた浄瑠璃の作者となり、時代物・世話物のヒット作を次々に世に送り出した。1703(元禄16)年に大坂竹本座で初めて公演された『曾根崎心中』は、彼が最初に著した世話物とされ、この作品で有名になるとともに、代表作の一つにも数えられた。ほかにも世話物としては、『冥途の飛脚』、『心中天網島』、時代物では『国性爺合戦』などを記した。

近松は歌舞伎の脚本も手がけた。歌舞伎は江戸時代初期に風俗取締まりのため女歌舞伎が禁止され、ついで盛んになった若衆歌舞伎も禁止された結果、野郎歌舞伎だけとなったが、江戸や上方に常設の芝居小屋が置かれ、江戸では荒事、上方では^④和事を得意とする名優が出て人気を博した。

このほか、元禄時代は美術の分野においても優れた人材を輩出した。京都の呉服商を営む雁金屋に生まれた『イ』は、一派をおこし、『紅白梅図屏風』、『燕子花図屏風』、『八橋蒔絵螺鈿硯箱』といった作品を残した。『ウ』は、浮世絵の版画を始め、『見返り美人』などの肉筆の美人絵も描いて人気を得た。また、陶芸の分野では、野々村仁清が陶器の表面に彩色する色絵の技法を完成させて、『エ』を大成させた。

元禄時代は学問も大きく発達した時代であった。^⑤儒学や実学が盛んになったほか、国文学の研究も大きく進展した。戸田茂睡は和歌における古今伝授や制の詞といった拘束をなくして自由

な研究を主張し、新たな境地を開いた。また、文献学的な考証に優れた **オ** は『万葉集』から多くの事例を引いて考察を加え、『万葉代匠記』を著した。

問1 空欄 **ア** ～ **オ** に入るもっとも適切な語句を、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- | | | | | |
|---|-------------|------------|-----------|-----------|
| ア | (a) 金々先生栄花夢 | (b) 折たく柴の記 | (c) 浮世風呂 | (d) 日本永代蔵 |
| イ | (a) 土佐光起 | (b) 尾形光琳 | (c) 俵屋宗達 | (d) 長谷川等伯 |
| ウ | (a) 菱川師宣 | (b) 喜多川歌麿 | (c) 東洲斎写楽 | (d) 鈴木春信 |
| エ | (a) 京焼 | (b) 萩焼 | (c) 伊万里焼 | (d) 信楽焼 |
| オ | (a) 賀茂真淵 | (b) 本居宣長 | (c) 契沖 | (d) 平田篤胤 |

問2 下線部①「元禄時代」の政治に関する記述について、もっとも適当なものの組み合わせを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- I 将軍綱吉は側用人として柳沢吉保、勘定吟味役として萩原重秀を登用した。
II 将軍綱吉は就任時に発布した武家諸法度で「文武弓馬ノ道」に回帰するよう改めた。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (a) I : 正, II : 正 | (b) I : 正, II : 誤 |
| (c) I : 誤, II : 正 | (d) I : 誤, II : 誤 |

問3 下線部②「慶長期以降」の幕府や藩の動向について述べた次の文I～IVについて、古いものから年代順に配列したものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- I 陸奥の大名伊達政宗が家臣の支倉常長をヨーロッパに派遣した。
II 幕府が特定の商人に仲間をつくらせ、輸入生糸を一括購入・販売する制度を定めた。
III 幕府は奉書船以外の日本船の海外渡航を禁止した。
IV 薩摩の大名島津家久が琉球を攻め、支配下に置いた。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (a) I - III - IV - II | (b) IV - I - II - III |
| (c) II - IV - I - III | (d) III - II - IV - I |

問4 下線部③「曾根崎心中」の内容として、もっとも適当なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 飛脚問屋の養子忠兵衛は、夢中になっていた遊女の梅川を身請けするため公金に手をつけてしまい、二人で駆け落ちし、最後は心中を遂げる物語。
- (b) 紙屋の治兵衛は、妻子がありながら遊女の小春と深い仲になってしまい、心中を誓い合うが、様々な障害があり、これらを乗り越えて最後は心中を遂げる物語。
- (c) 油屋の息子与兵衛は、日頃から遊びに金を使い、さらに馴染みの遊女小菊を身請けするため金策するがうまくいかず、同業の女房お吉に金を無心するがこれも失敗したあげく、お吉を殺害してしまい、小菊と心中する物語。
- (d) 醤油屋の手代徳兵衛は、友人の九平次に金を貸すが、九平次は金を返さず、さらに徳兵衛を陥れようとしたため、徳兵衛はなじみの遊女お初と心中する物語。

問5 下線部④に関して、この当時の「和事を得意とする名優」として、もっとも適当なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 市川団十郎 (b) 尾上菊五郎 (c) 坂田藤十郎 (d) 市川左団次

問6 下線部⑤「儒学」に関する記述として、もっとも適当なものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 朱子学は幕府や藩に教学として重んじられ、幕府は湯島の昌平坂に林家の家塾を移して学問所として整備した。
- (b) 熊沢蕃山やその弟子の中江藤樹は陽明学を信奉し、蕃山は『大学或問』で幕府を批判したため、下総古河に幽閉された。
- (c) 山鹿素行は神道を儒教流に解釈して垂加神道を説き、これが幕末の尊王論の根拠になった。
- (d) 海南学派の流れを汲む伊藤仁斎らは古学派を唱え、『論語』や『孟子』を原典から読み直して正しく理解すべきことを主張した。

Ⅳ 次の文章を読み、下の問いに答えよ。(25点)

- (1) 安政の五カ国条約締結を機に、日本と欧米列強との間の貿易は1859(安政6)年から横浜・長崎・で始まった。輸出入品の取引は、居留地において外国商人と日本人との間で行われ、^①貿易は活発化した。各国との貿易は輸出超過となり貿易黒字を記録したが、その反射的作用として市場物価も上昇し、庶民の生活に影響が出始めた。そのため、幕府は物価高騰の対応に追われ、貿易を統制して物価をコントロールしようと試みてを発令した。
- (2) 開港当初、日本から生糸・茶・蚕卵紙・海産物などの農水産物やその加工品が多く輸出され、毛織物・綿織物などの繊維工業製品や鉄砲・艦船などの軍需品が輸入された。しかし、貿易統計資料によれば、1885(明治18)年には、輸入の首位が綿糸となった。また、機械類や石油とともに、の輸入も増加した。ところが、1899(明治32)年には綿糸は輸出品に転じ、その原料である綿花が輸入品の首位になった。米は明治時代の半ばまで輸出されることもあったが、日清戦争後から徐々に輸入され始めた。^②
- (3) 1935(昭和10)年になると、綿織物が生糸にかわって輸出の首位になるが、衣類や雑品(雑貨)といった軽工業製品の輸出が多くなった。他方、重工業製品に関しては、機械類の輸出が始まる一方で、輸入も続き、また工業製品の原料となる鉄や石油の輸入も比率を高めた。綿花のおもな輸入先はイギリス領で、生糸の輸出先はアメリカ合衆国であった。
- (4) 第二次世界大戦の敗戦後、GHQは日本に対して、^③ドッジ=ラインと呼ばれる経済安定政策を実施させていたが、1950(昭和25)年に勃発した朝鮮戦争で日本経済は活気を取り戻した。武器や弾薬製造、自動車や機械の修理など米軍による膨大な需要が発生したためである。また、世界的な景気の回復傾向の中で対米輸出が増え、繊維や金属を中心に生産が拡大し、1951(昭和26)年には、工業生産・実質国民総生産・実質個人消費などが戦前の水準を回復した。この好景気を景気という。1955(昭和30)年には生糸の輸出や、綿花輸入と綿織物輸出という戦前の繊維産業の復活が見られた。重工業産業では、鉄鋼や船舶を含む機械が輸出の上位を占めるようになった。その後、日本は^④高度経済成長を経て重化学工業がよりいっそう発展し、燃料や原料を輸入し加工して製品化した工業製品を世界各国へ輸出する工業国となった。

(5) 1972(昭和47)年, 田中角栄が内閣を組織した。田中首相は, 同年9月に訪中して日中国交正常化を実現する一方, 公共投資を拡大した。その結果, 不動産や株式への投機が起こり, 不動産価格が高騰した。これに第1次石油危機による原油価格の高騰とが相まって激しいインフレが発生した。商社による商品の買占めもあって生活用品の品不足が生じ, 市民生活は混乱した。政府は, 金融の引締めに転じたが, インフレが収束しないまま深刻な不況におちいった。1974(昭和49)年には, 日本経済は戦後初のマイナス成長となり, その後も低成長にとどまった。こうして, 日本の高度経済成長は終焉を迎え, 成長率の低下, 物価上昇, 経常収支の赤字という三重苦に直面した。

問1 空欄 ~ に入るもっとも適切な語句を, 下の(a)~(d)から一つ選べ。

- | | | | | |
|---|-----------|------------|------------|-------------|
| ア | (a) 箱館 | (b) 江戸 | (c) 大坂 | (d) 兵庫 |
| イ | (a) 薪水給与令 | (b) 株仲間解散令 | (c) 株仲間再興令 | (d) 五品江戸廻送令 |
| ウ | (a) 大豆 | (b) 砂糖 | (c) 牛肉 | (d) 小麦 |
| エ | (a) ホンコン | (b) マカオ | (c) インド | (d) オーストラリア |
| オ | (a) なべ底 | (b) 岩戸 | (c) いざなぎ | (d) 特需 |

問2 下線部①「貿易は活発化した」に関する記述として, もっとも適切なものを, 下の(a)~(d)から一つ選べ。

- (a) イギリスとフランスはクリミア戦争に参戦し, ロシアと交戦したため, 貿易相手国としてアメリカとの取引が最多となった。
- (b) イギリスとアメリカの間で独立戦争が生じた結果, 貿易相手国としてフランスとの取引が最多となった。
- (c) アメリカとメキシコの間で米墨戦争が生じた結果, 貿易相手国としてイギリスとの取引が最多となった。
- (d) アメリカで南北戦争が勃発し内戦が激化したため, 貿易相手国としてイギリスとの取引が最多となった。

問3 下線部②に関する記述として、もっとも適当なものを、下の(a)~(d)から一つ選べ。

- (a) 明治時代の欧化政策により、食の西洋化が庶民にも浸透し、小麦を原料とするパンや麺類が主食として取り入れられたことで、米の需要が減少し、米の生産高が徐々に低下していたのを補うため、政府は国外から米を輸入した。
- (b) 鉄鋼業などの重工業が進展し、非農業人口が増大する一方で農業生産者が減少したことから、米の生産高が徐々に低下していたのを補うため、政府は国外から米を輸入した。
- (c) シベリア出兵を当て込んだ米の買占めが横行し、米価が暴騰したことにより生じた米騒動を収束させるため、政府は国外から米を輸入し、米価の低下を図ろうとした。
- (d) 大豆粕などの金肥普及、米の品種改良および農業技術の向上により農業生産高は増加していたものの、農業に従事しない都市人口の増加のため、その需要に追い付かず、供給を充足させるため、政府は国外から米を輸入した。

問4 下線部③「ドッジ=ライン」に関する記述について、もっとも適当なものの組み合わせを、下の(a)~(d)から一つ選べ。

- I ドッジ=ラインとは、GHQが日本の税制改革のため、アメリカ人銀行家のドッジを第2次吉田茂内閣の特命大臣として派遣し、経済安定九原則を遂行した一連の施策を指す。
- II ドッジ=ラインにより、日本経済は深刻なデフレ不況を脱したが、その反射的効果として物価上昇によるインフレが進行し、賃金が追い付かず、庶民の生活は窮乏化した。

- (a) I : 正, II : 正
- (b) I : 正, II : 誤
- (c) I : 誤, II : 正
- (d) I : 誤, II : 誤

問5 下線部④「高度経済成長」に関わる出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅳについて、古いものから年代順に配列したものを、下の(a)～(d)から一つ選べ。

- Ⅰ 中内功が設立したダイエーは老舗百貨店の三越を抜いて売上高で第1位となった（流通革命）。
- Ⅱ 公害を批判する世論の高まりを背景に、公害対策基本法が制定されて大気汚染・水質汚濁など7種の公害が規制された。
- Ⅲ 経済企画庁は『経済白書』で「もはや戦後ではない」と記した。
- Ⅳ 大阪で日本万国博覧会（大阪万博）が開催され、経済・文化面での日本の発展を世界に示す、壮大な国家的イベントとなった。

(a) Ⅱ－Ⅳ－Ⅰ－Ⅲ

(b) Ⅲ－Ⅱ－Ⅳ－Ⅰ

(c) Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ－Ⅳ

(d) Ⅱ－Ⅰ－Ⅳ－Ⅲ

問6 下線部⑤「田中角栄」に関する記述について、誤っているものはどれか。下の(a)～(d)から一つ選べ。

- (a) 田中角栄内閣は、首相みずからの政治資金調達をめぐる疑惑が報道され、1974（昭和49）年に総辞職した。
- (b) 田中角栄元総理大臣は、航空機メーカーのロッキード社から航空機セールスをめぐる収賄容疑で逮捕された。
- (c) 田中角栄内閣は、内需拡大を掲げて貿易黒字・円高不況に対処し、日中平和友好条約を締結した。
- (d) 田中角栄は「日本列島改造論」を掲げ、工業の地方分散、新幹線と高速道路による高速交通ネットワークの整備など列島改造政策を打ち出した。